

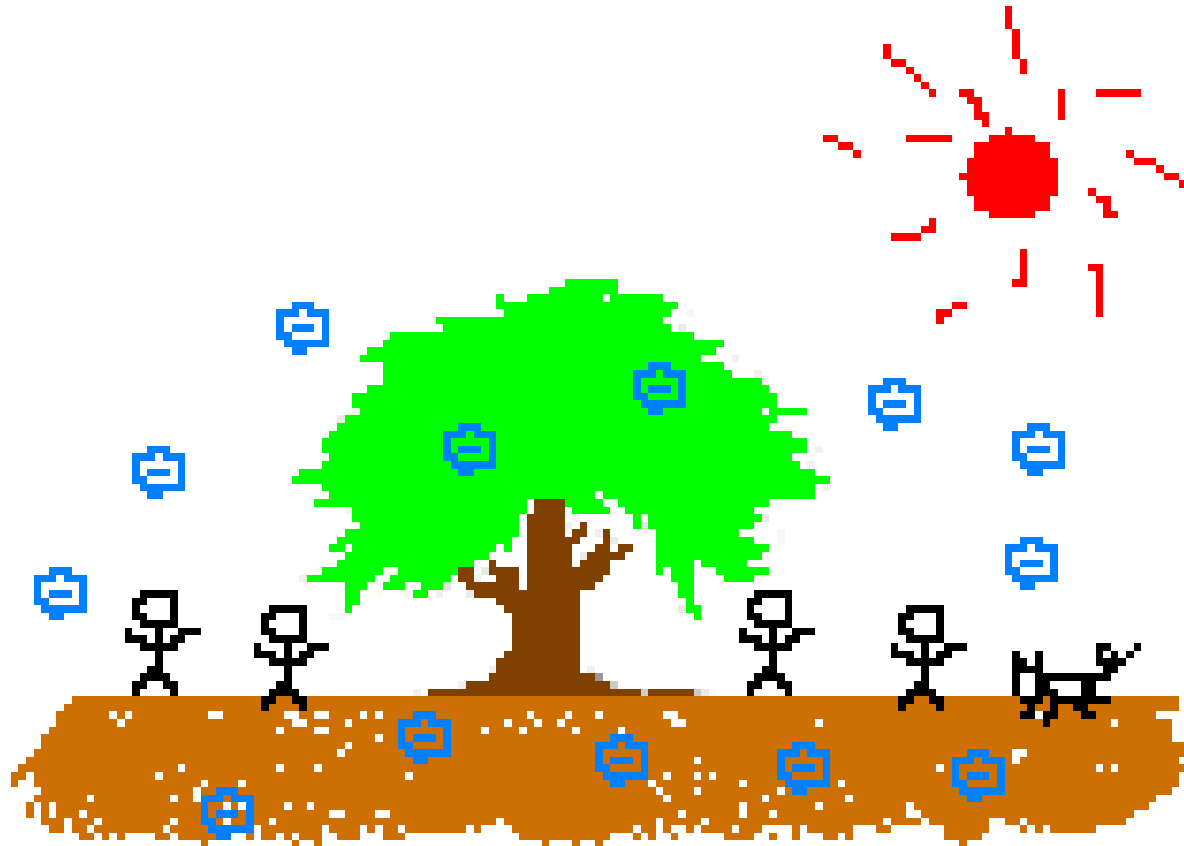


電子負荷治療 の生理的 効果とメカニズム

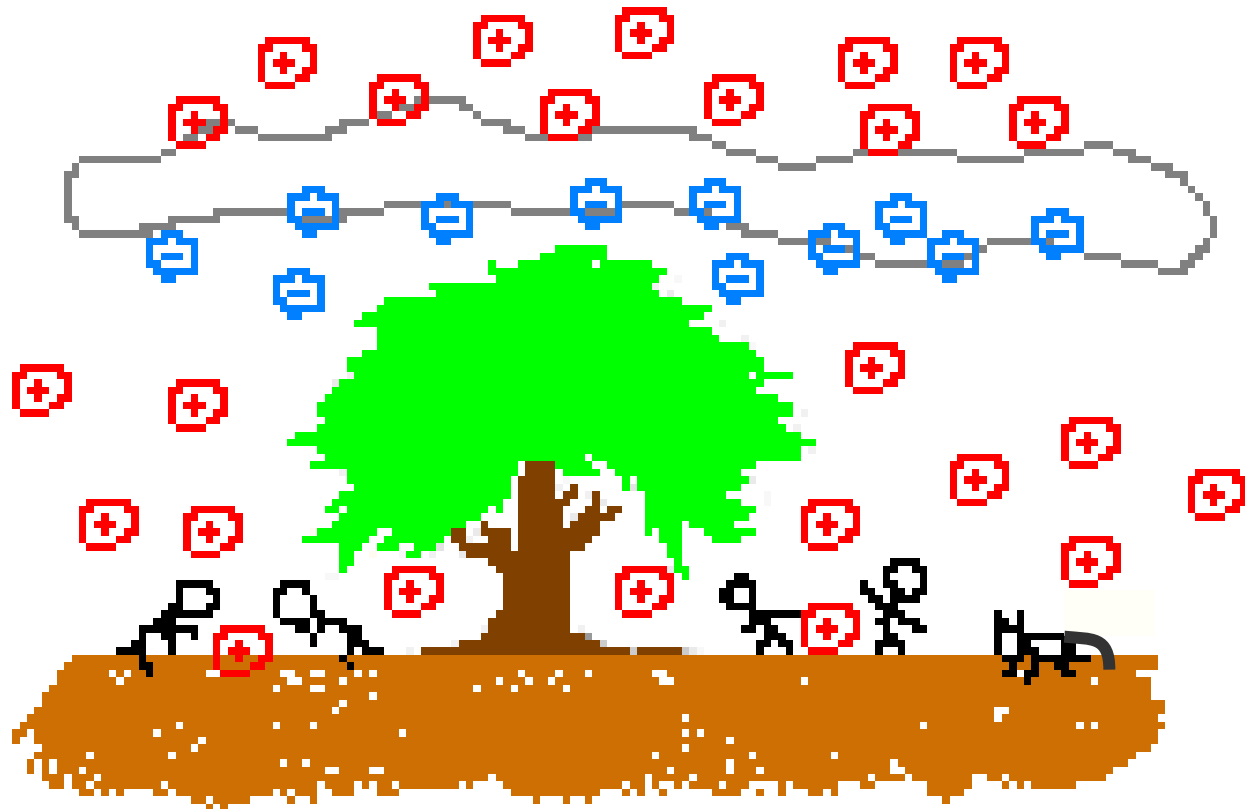
カリフォルニア人間科学大学(USA)
客員教授
薬学博士 高橋周七

良く晴れた日は大地より
マイナスイオンが
多量に放出され気分が良い！

晴



雨雲が大地に低く垂れ
プラスイオンが大地より誘導され
うっとうしくなる！



プラスイオンとマイナスイオン

摩擦により一方の物体から電子が飛び出し相手の物体に飛び込む。

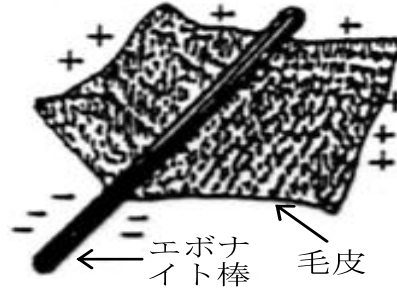
◎ その結果電子を失った方がプラスイオン電子を捕まえた方がマイナスイオン帯電する。

◎ プラスとマイナスが元の中和状態に戻るとき火花放電する。

ファラディの静電序列

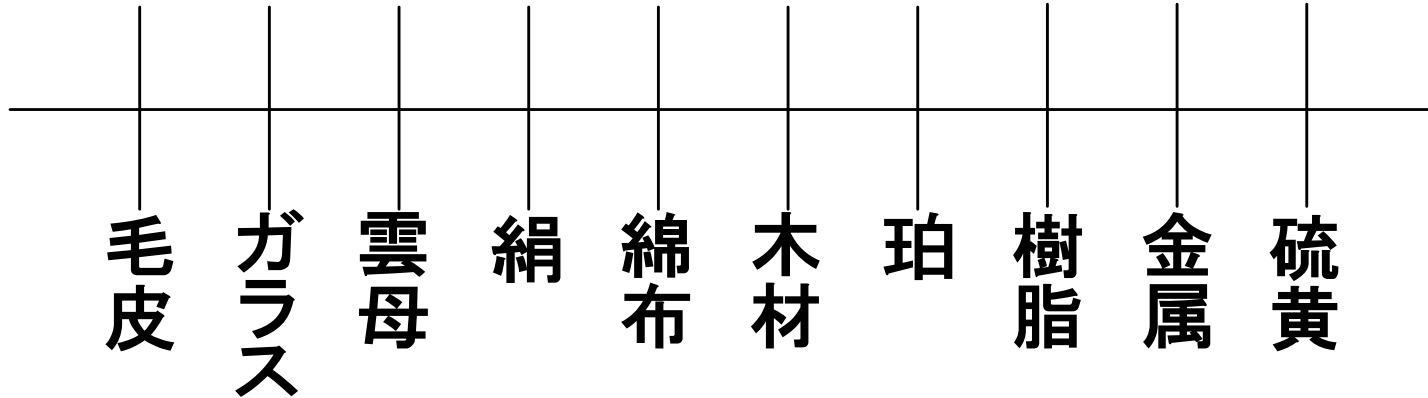
a) エボナイト棒の帯電

+



-

エボナイト棒を毛皮で強く摩擦する
毛皮は正電気を、エボナイト棒は負電気を帯電する



擦り合わせると左側プラス・右側マイナス
に帯電し両者が離れる程電気量は大きいー十

マイナスイオン

とは



電子そのものと電子を負荷
された原子団や分子団

プラスイオン電解は事故や犯罪を招く

- 1940年 ドイツのライタートバーク博士等によって環境電解がプラスになると、交通事故発生率の相関性のあることが発表。
- アメリカ連邦犯罪科学研究所の調査で、全米一の大デパート・メーシーで店内に**マイナスイオン**化空気を送り込むと、その期間中万引き発生率が明らかに低下した。
- プラスイオン**が人体の自律神経を乱し、それが脳に影響を与え交通事故を引き起こす。

静電気の生体におよぼす作用

プラスイオン	マイナスイオン
刺 激	鎮 静
興 奮	抑 制
血圧上昇	血圧低下
疲労促進	疲労回復
活性酸素の発生	活性酸素中和

マイナスイオンによる 抗疲労と抗老化のメカニズム

1. 細胞膜電位の活性化による細胞の活性化
2. 自律神経系の安定により抗疲労
3. 生体成分を酸化させる活性酸素の中和による抗疲労と老化防止
4. **コラーゲン**合成の活性化

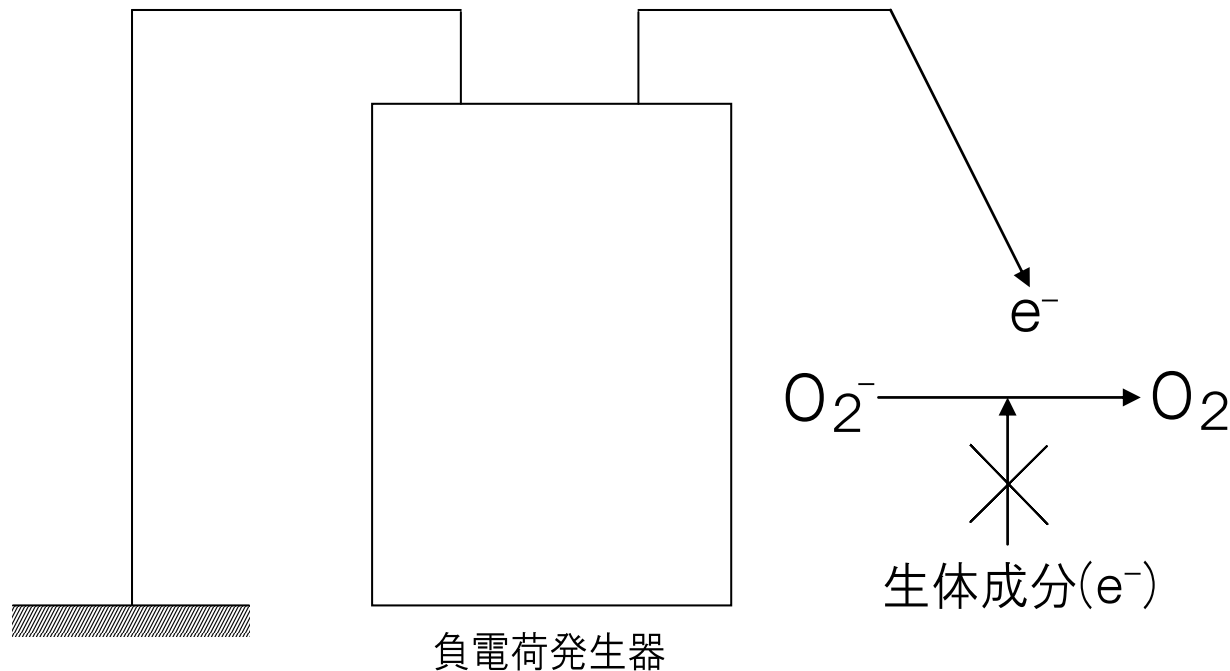
生体の活性酸素の生体への 攻撃と防御

活性酸素は生体成分より^{マイナスイオン}負電子を奪って酸化させる。

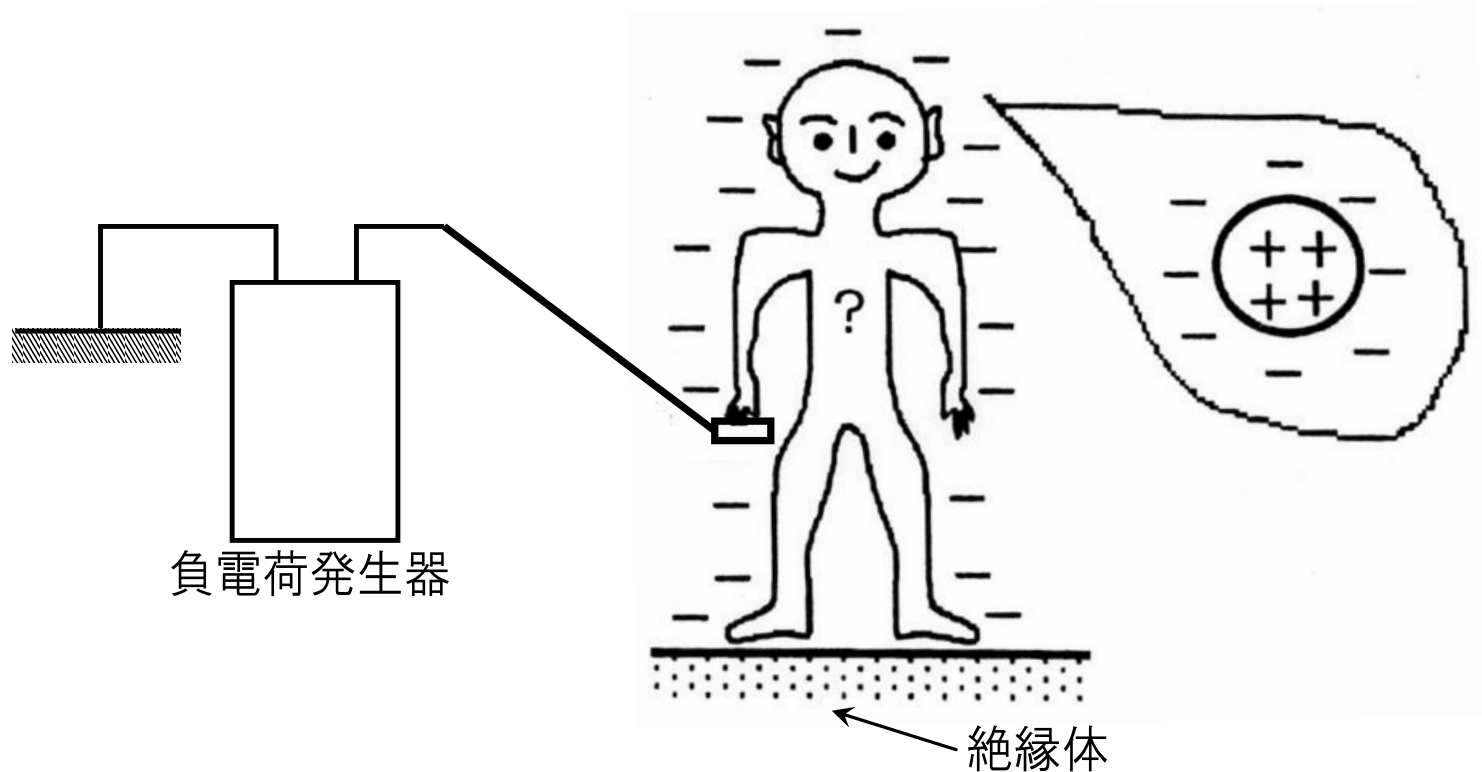
奪われる生体成分の電子に代わって^{マイナスイオン}負電子発生器が発生する電子を活性酸素に与えて中和することで生体成分が電子を奪われ酸化されることを防ぐ。

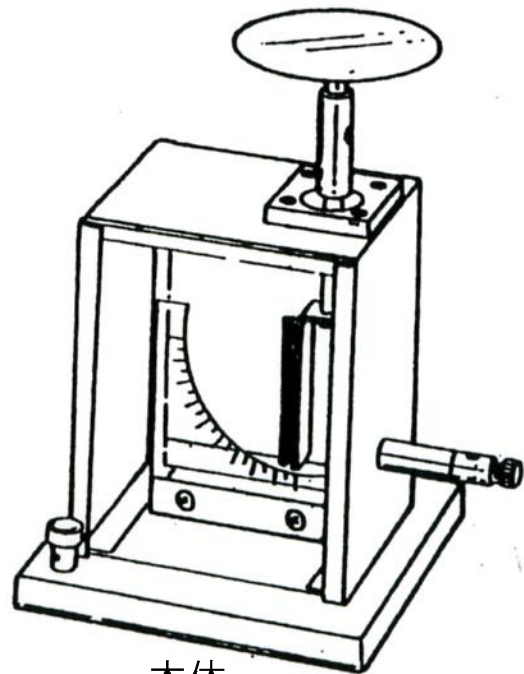
活性酸素は生体成分の 電子（マイナスイオン）を 欲しがっている。

ならば生体成分が与えるのではなく、電子発生器が与えることで活性酸素を消去すればよい

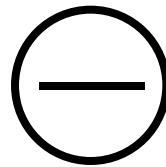


生体外より与えたマイナスイオンが体内に達することができるか？





本体

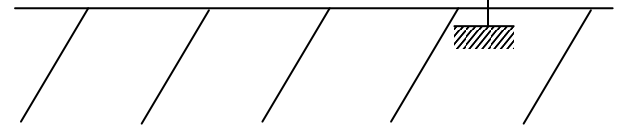


人体に
帯電中

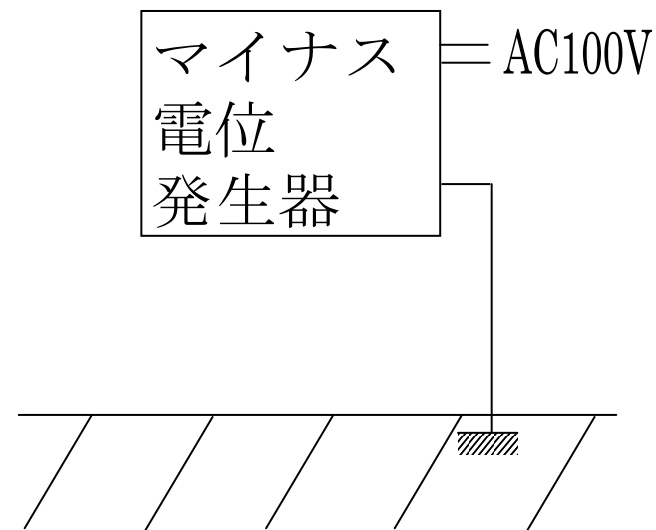
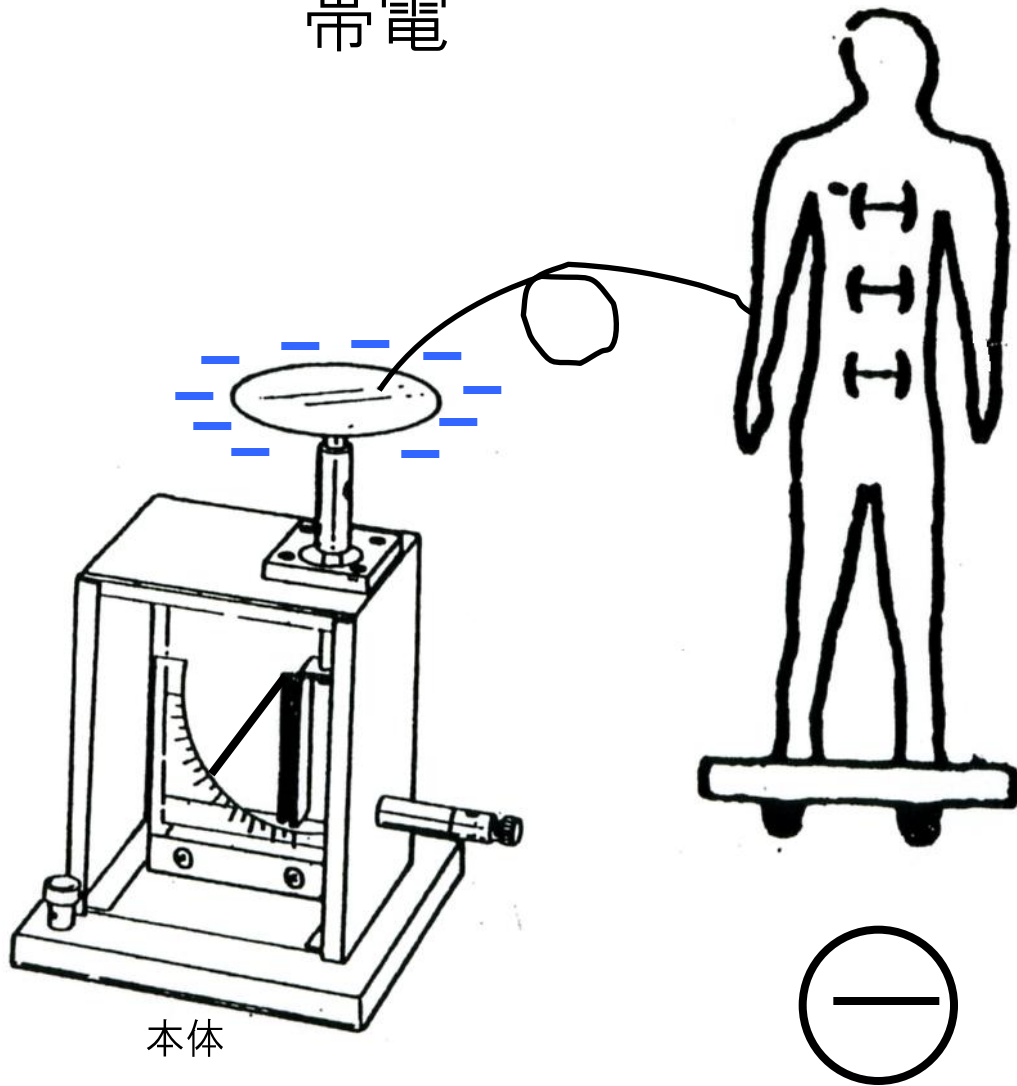
-150V~-300V

マイナス
電位
発生器

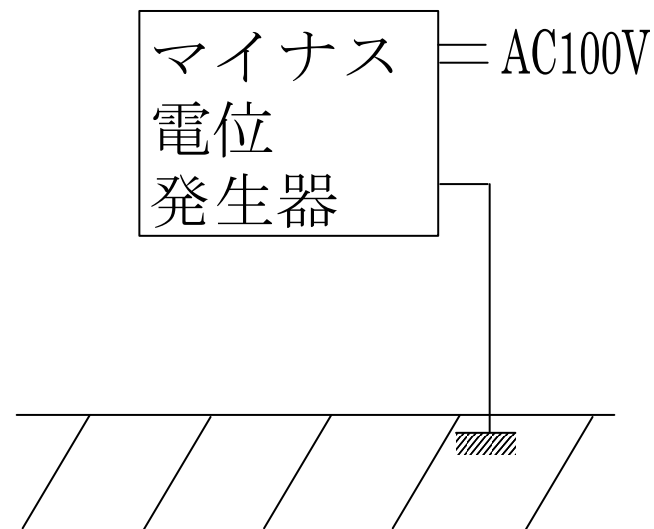
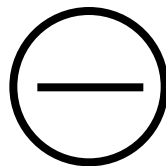
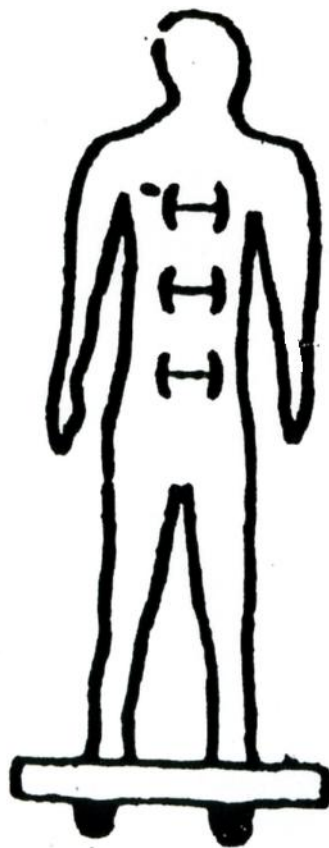
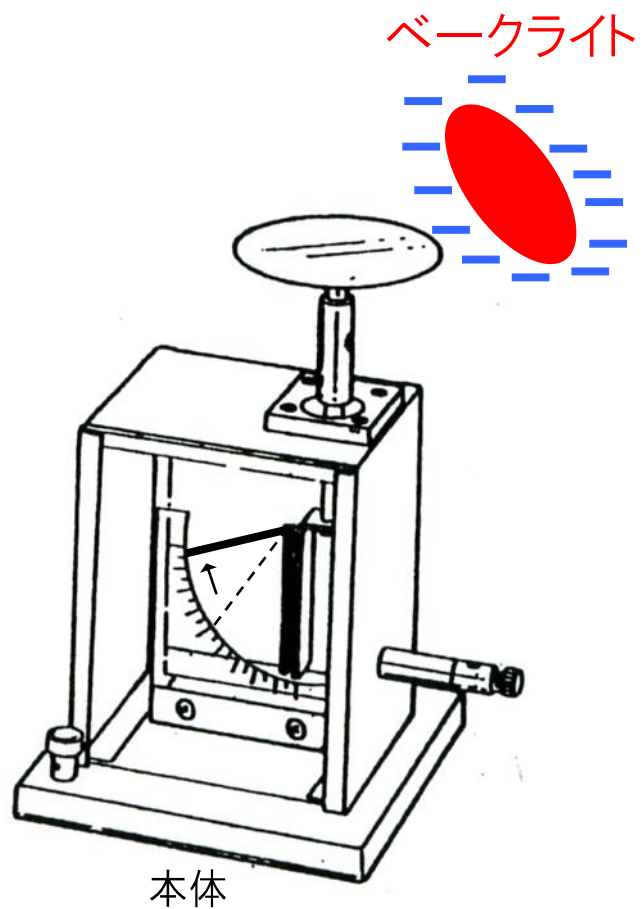
AC100V



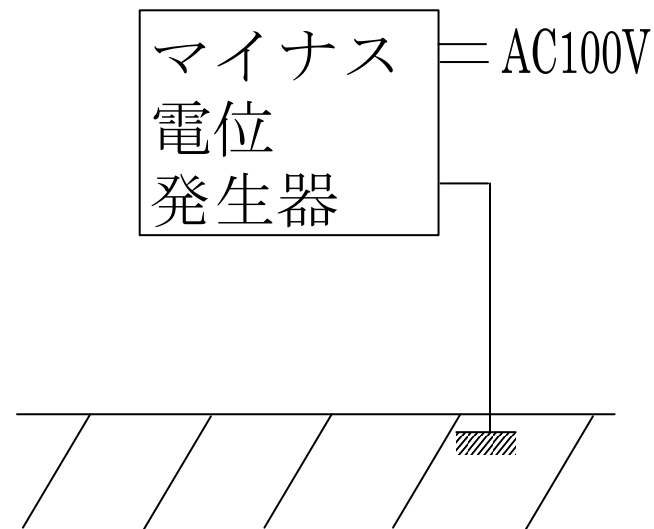
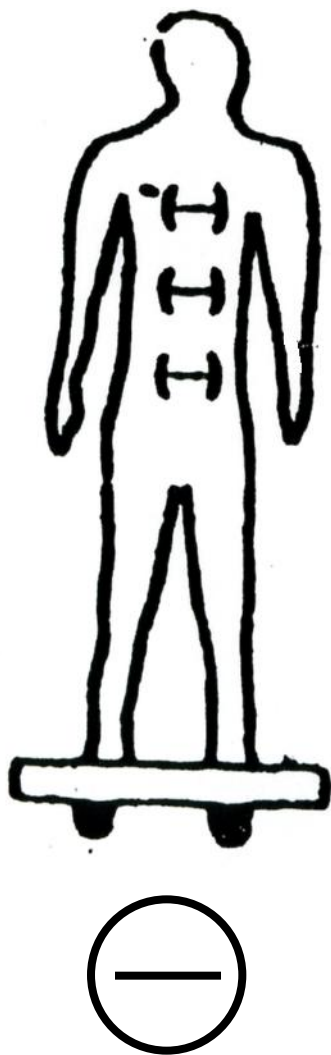
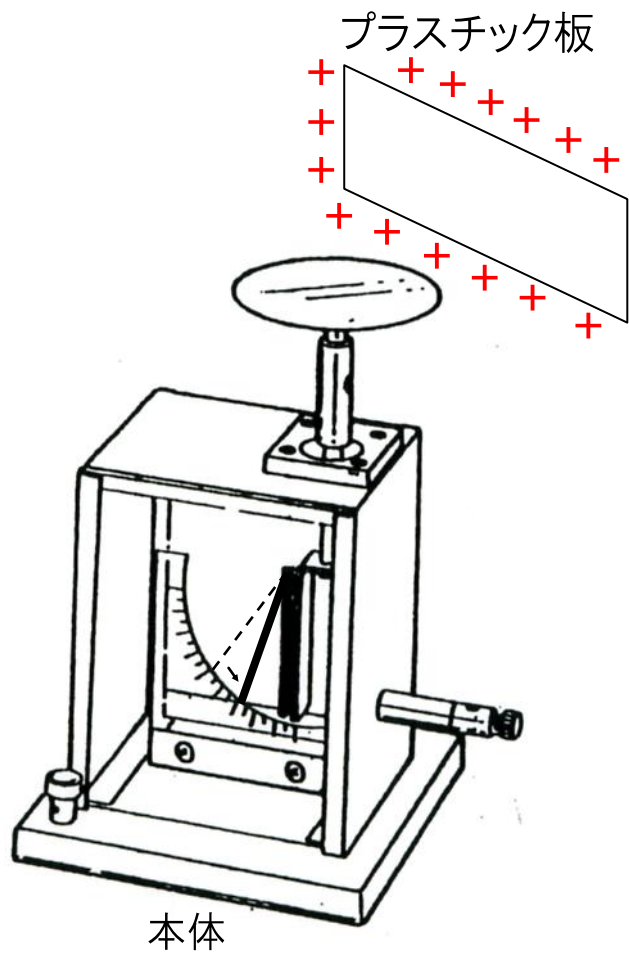
人体からはく検電器に 帯電



マイナス帯電を 確認 1.



マイナス帯電を 確認 2.

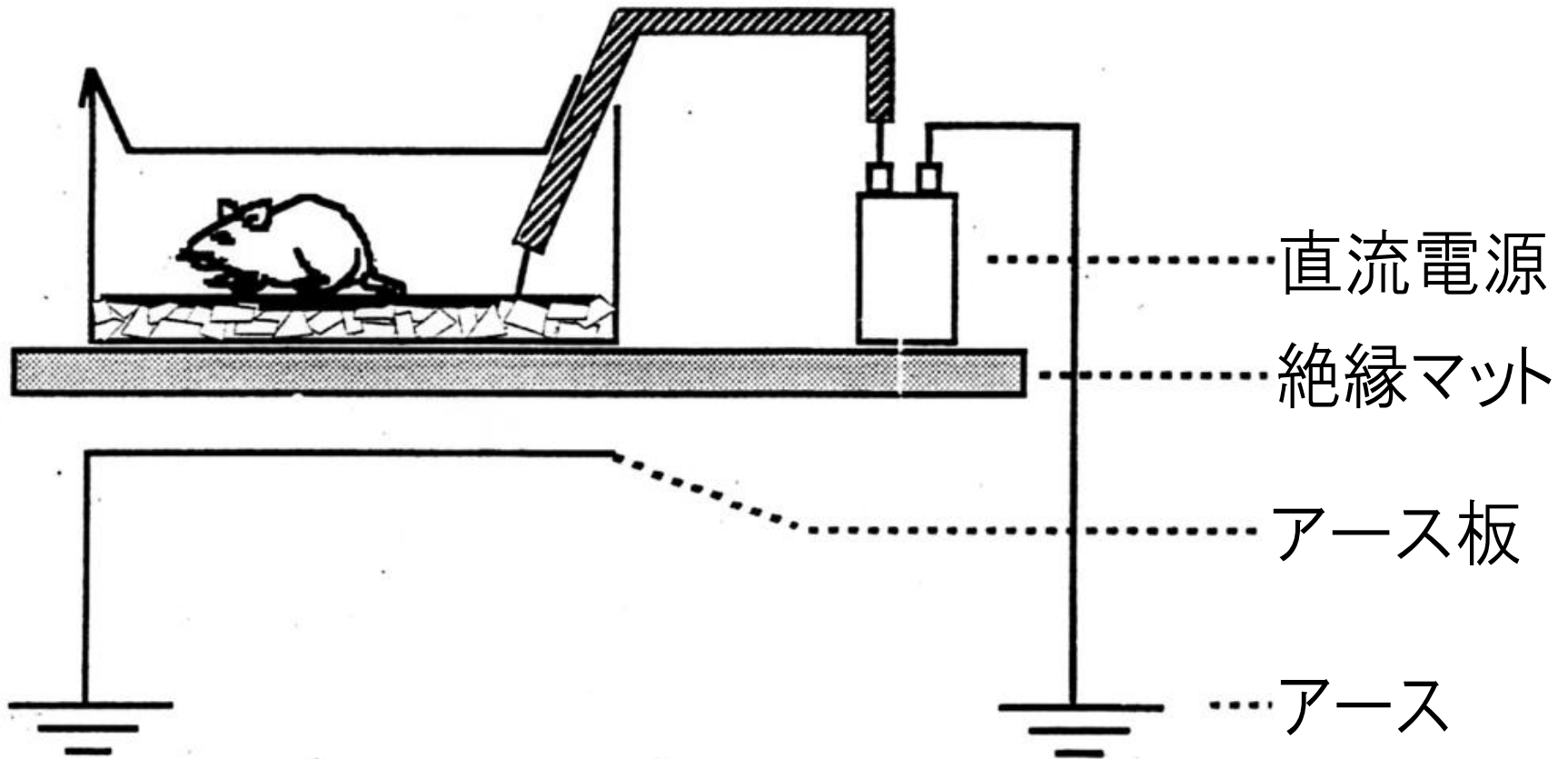


実験的証明

(パラコートと負電位負荷)

- マウスにマイナスイオンを負荷しながらパラコートを与え、肺で発生する活性酸素のダメージを防御できるかどうかの実験を行った。
- もし、この実験で肺がダメージを受けていなければマイナスイオンで活性酸素を消去したことになる。

負電位負荷装置



負電位負荷実験図

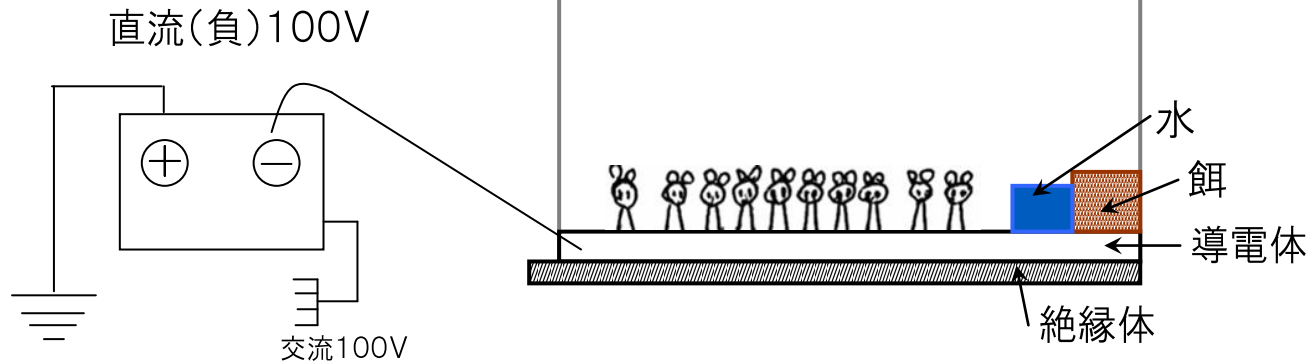
10匹♂マウス群餌 餌と水は自由摂取 温度24℃

12時間明 12時間暗

↙ ステンレス飼育籠

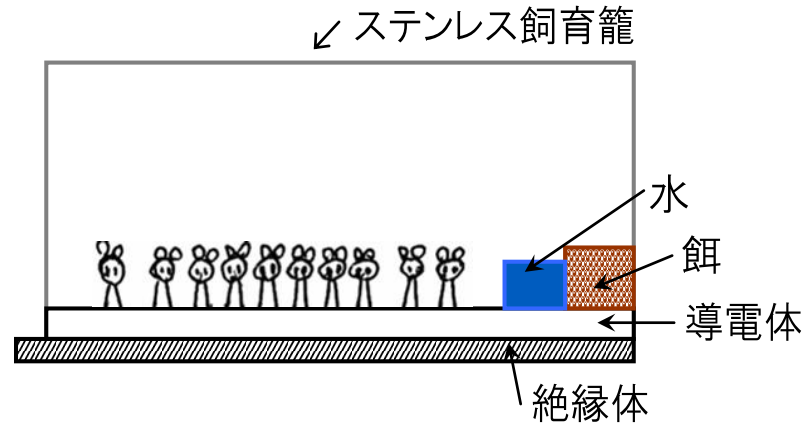
ケージの大きさ
50cm(タテ)×
30cm(ヨコ)×
35cm(タカサ)

● 実験群



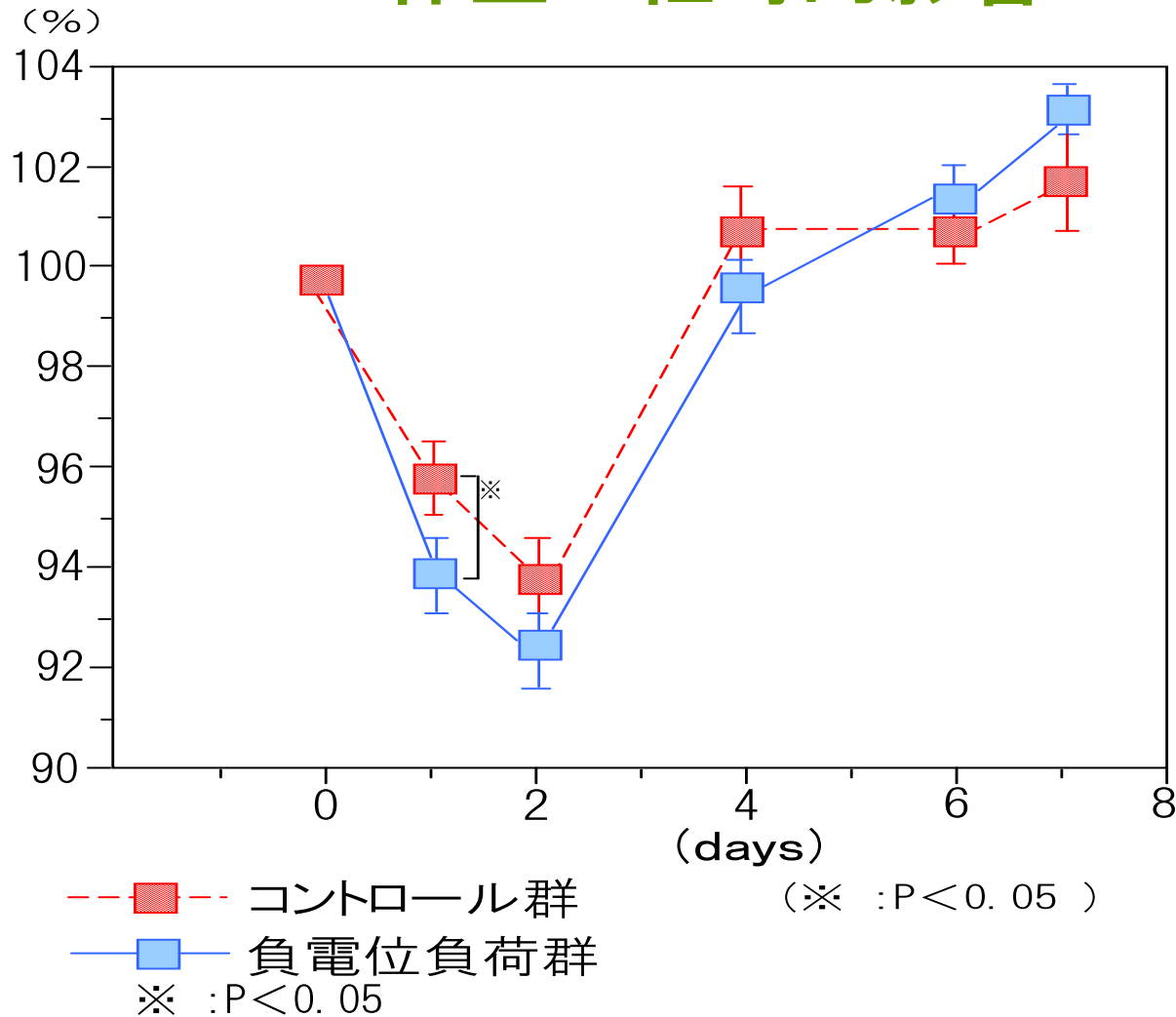
10匹のマウスに直流(負)100Vを負荷している図

● 対照群



10匹のマウスに直流(負)100Vを負荷していない図

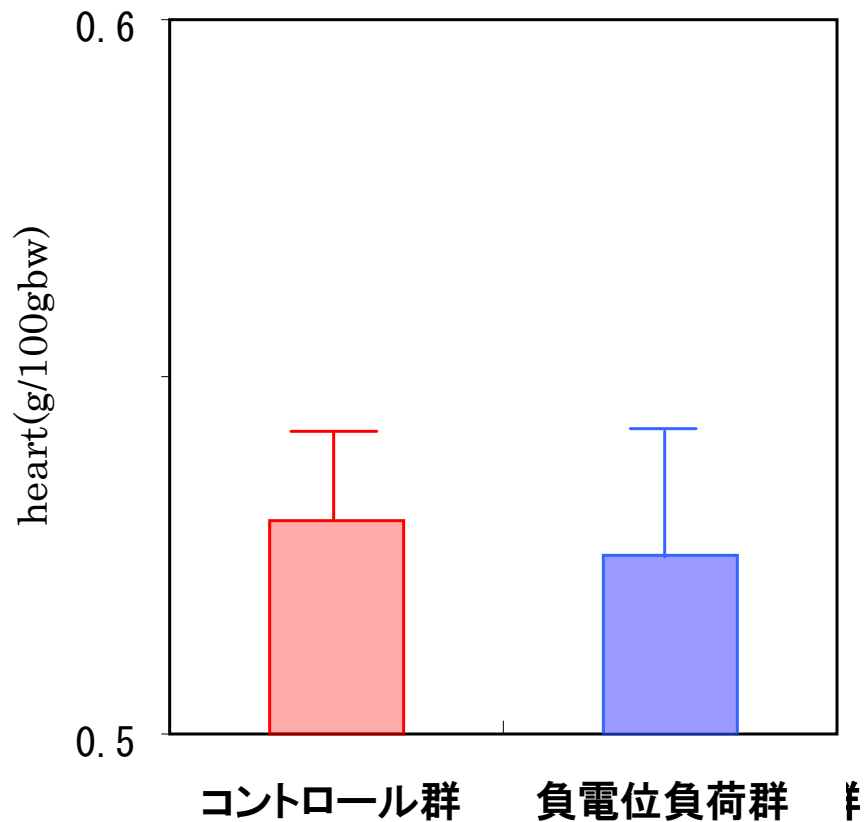
負電位負荷によるパラコート投与実験動物の体重の経時的影響



負電位負荷による実験動物の肺重量への影響

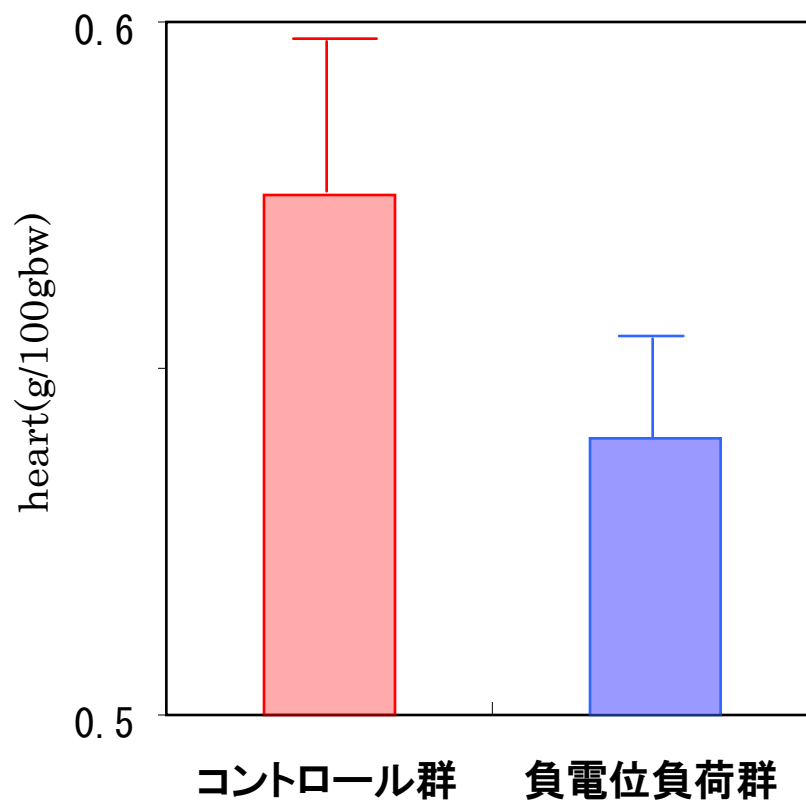
(A)

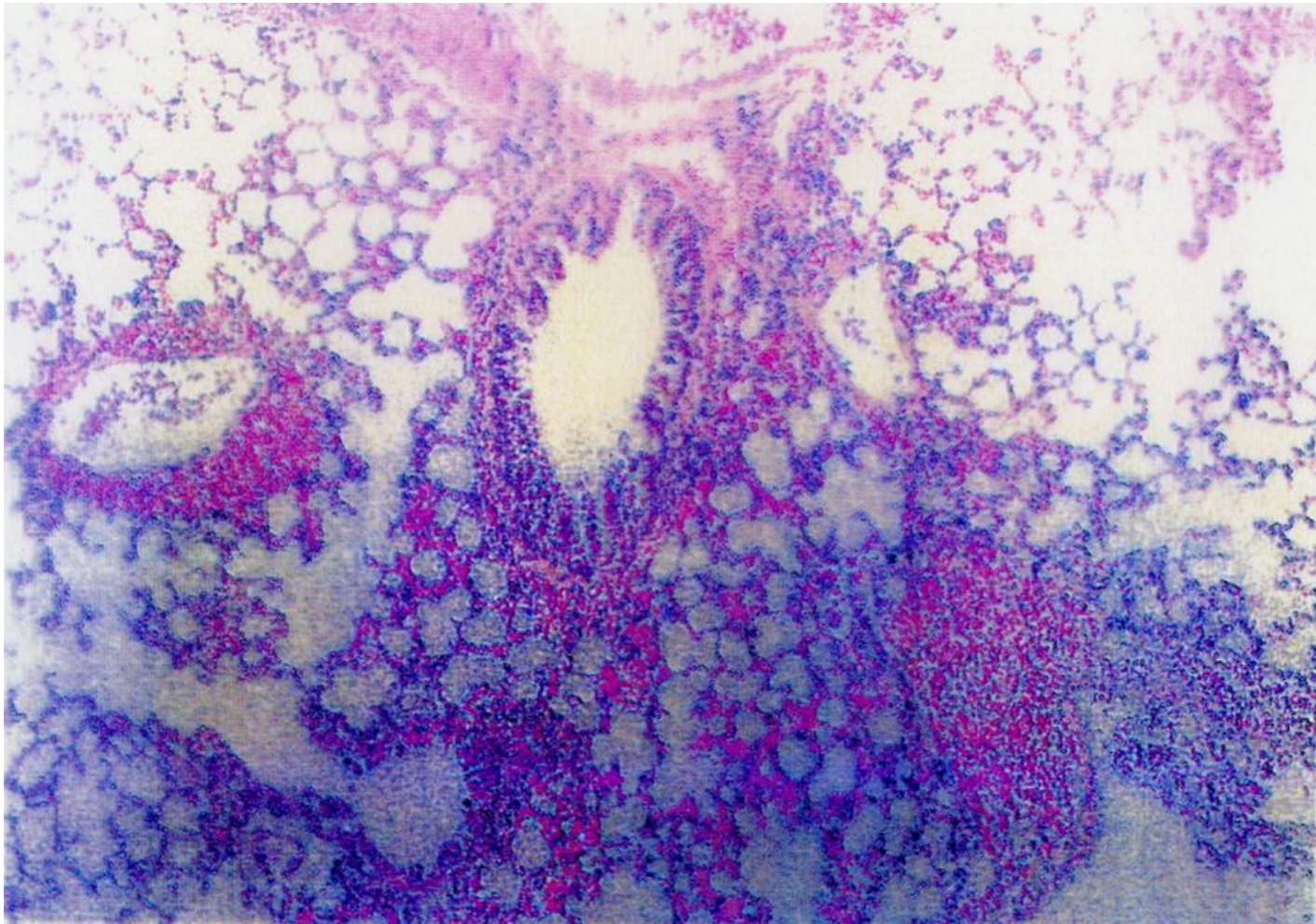
(パラコートを投与しない実験)



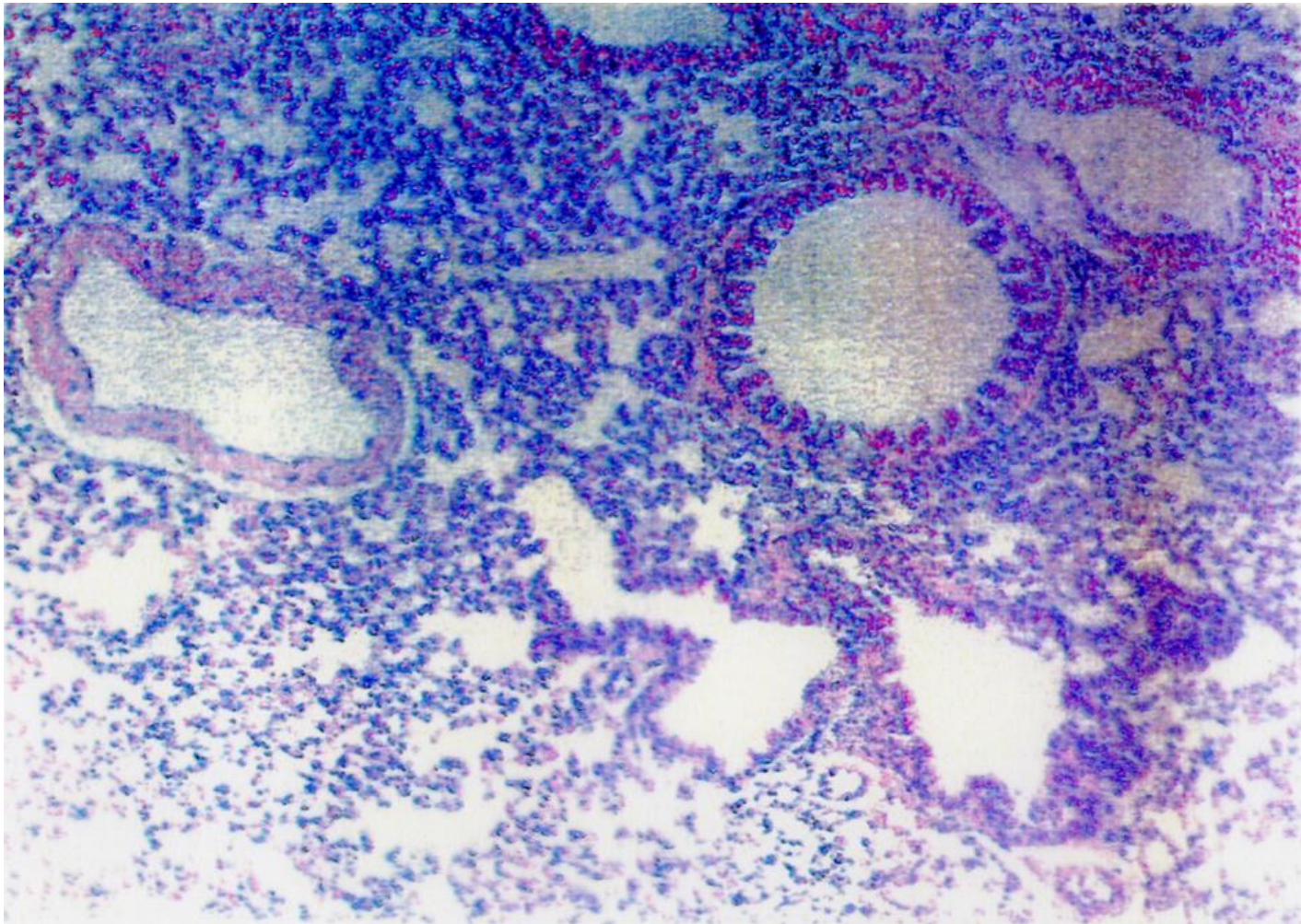
(B)

(パラコートを投与した実験)



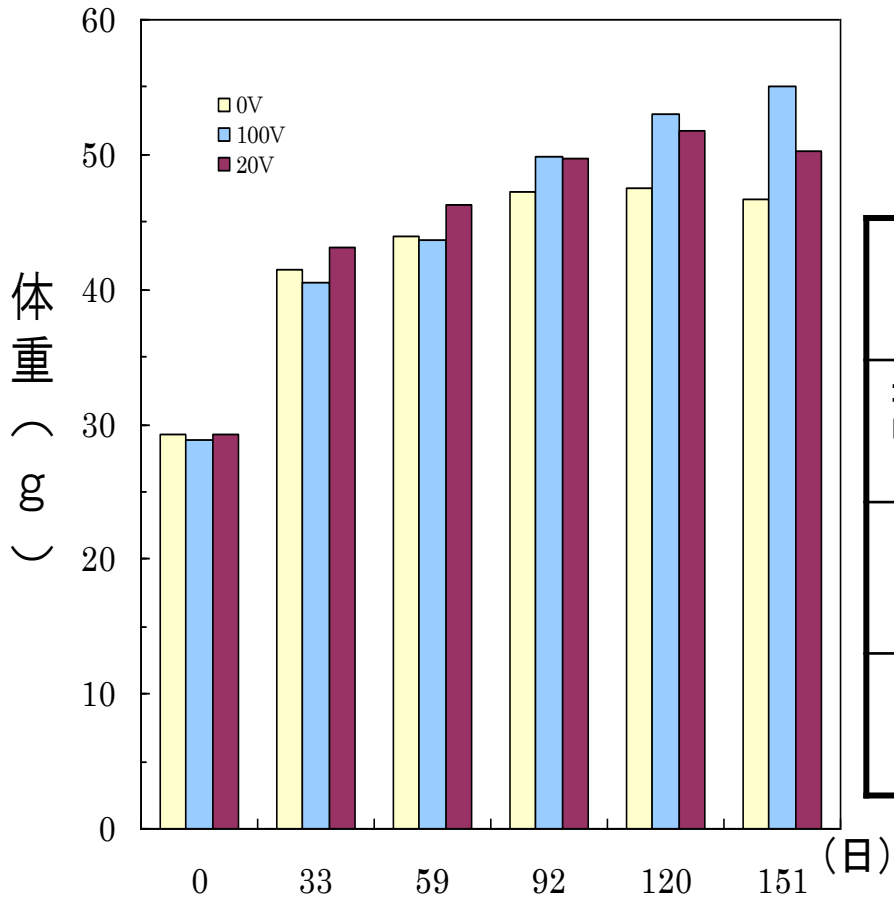


(A)ddy系雄性マウス(8週令)肺の光学顕微鏡写真
パラコート130mg/kg経口投与1週間後
HE染色、倍率100倍



**(B) ddy系雄性マウス(8週令)肺の光学顕微鏡写真
-150V負電位負荷2週間後。パラコート130mg/kg経口投与1週間後
HE染色、倍率100倍**

負電位負荷がマウスの体重におよぼす影響

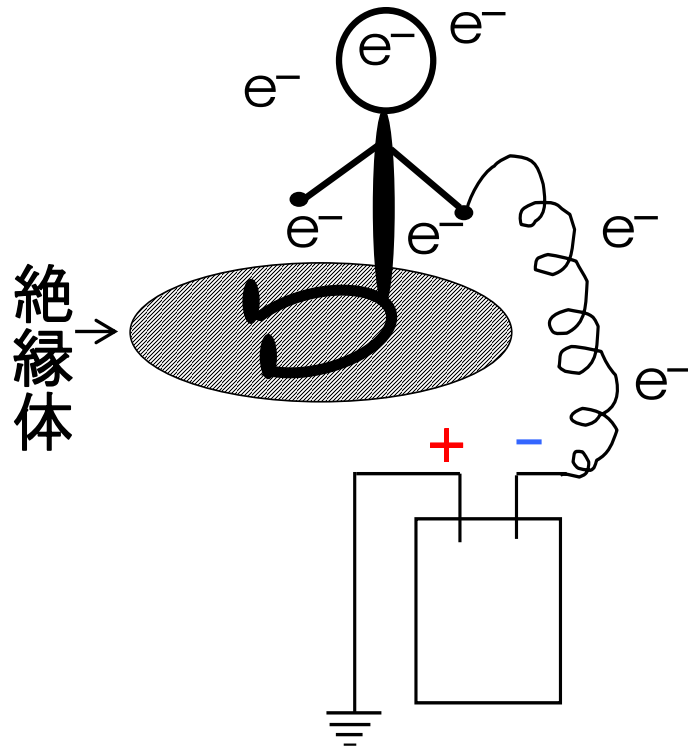


	2/20 0日	3/26 33日	4/20 59日	5/23 92日	6/20 120日	7/21 151日
コントロール	29.3 ±0.12	41.5 ±1.0 4	44.0 ±1.26	47.2 ±1.26	47.5 ±1.60	46.7 ±2.15
100V	28.9 ±0.24	40.5 ±0.7 9	43.7 ±0.86	49.8 ±1.32	53.0 ±1.48 *	55.1 ±1.16 *
200V	29.2 ±0.20	43.1 ±1.4 1	46.3 ±1.94	49.7 ±2.12	51.8 ±2.11	50.2 ±2.28

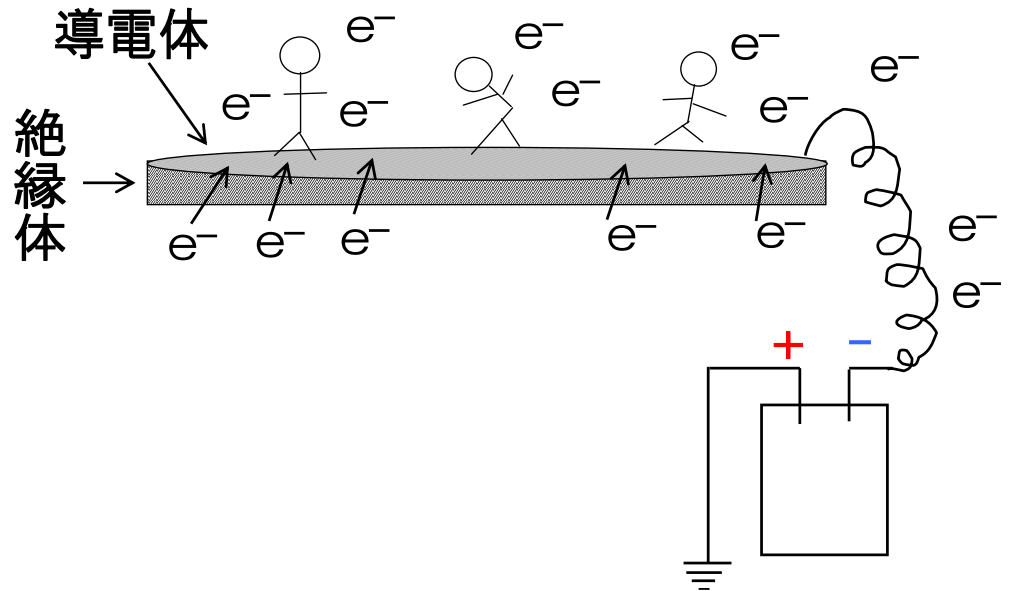
Valuea show mean±SE * =p<0.05(Fishers PLSD)

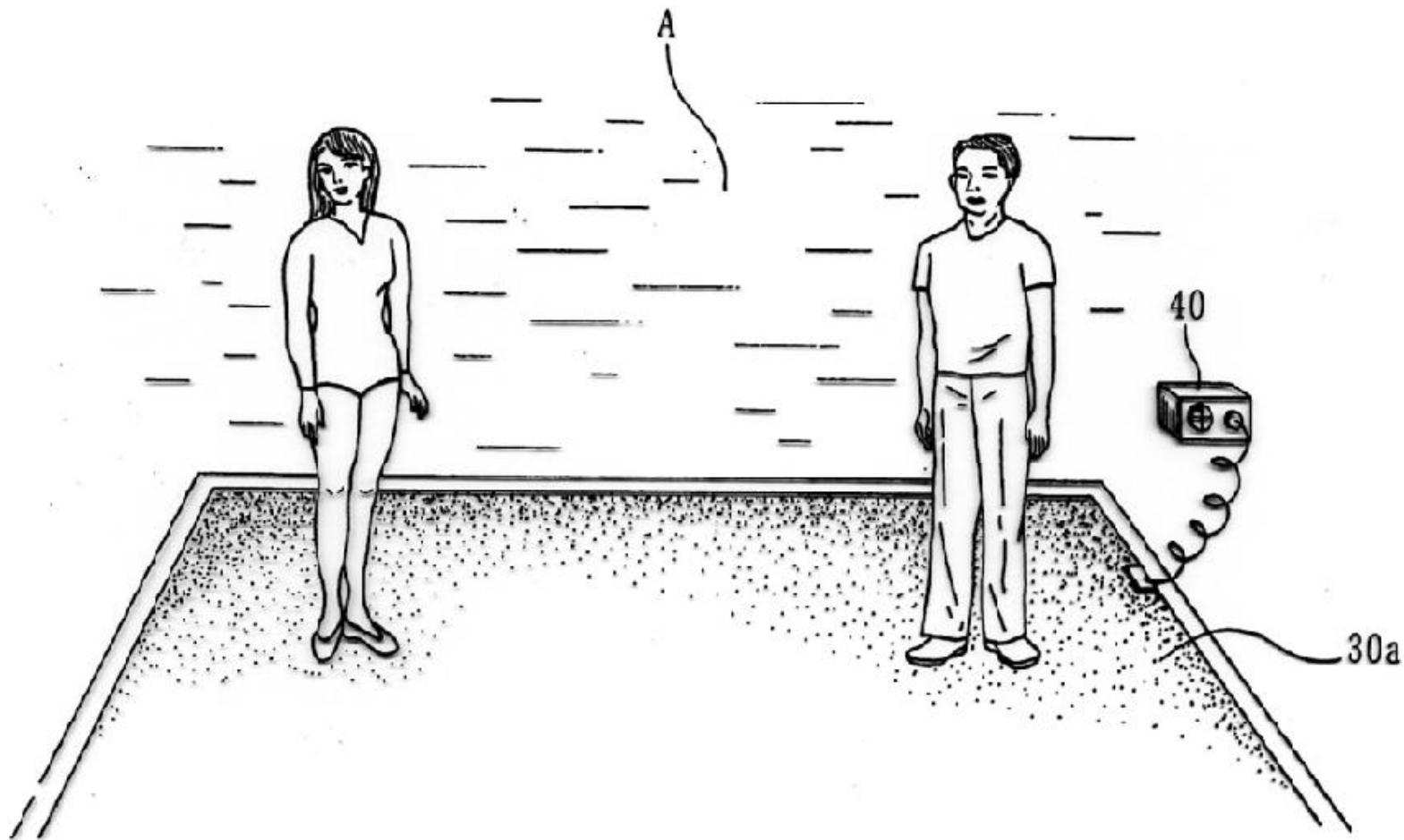
夢電子ルーム

従来の電子負荷
(運動拘束)



解放された電子負荷
(自由に移動しながらコードレス)





【符号の説明】

10・・・地表面、11・・・空気層、20・・・居住空間、21・・・床、22・・・出入口、23・・・窓、24・・・壁、30・・・導電性部材、30a・・・導電性部材、30b・・・導電性部材・・・、40・・・マイナス電位発生器、50・・・宇宙船、51・・・外部、52・・・内部

“不眠症”に対する マイナス電位負荷の治療効果

		便秘	頭痛	不眠
有効	著効	4	5	5
	有効	12	13	14
	やや有効	6	5	4
		22 (73.3%)	23 (71.9%)	23 (71.9%)
無効		8 (26.7%)	9 (28.1%)	9 (28.1%)
計		30	32	32

伊藤秀三郎博士(北関東医学第34巻3号、1984.)

“老化のメカニズムと制御”(アイピーシー)より引用

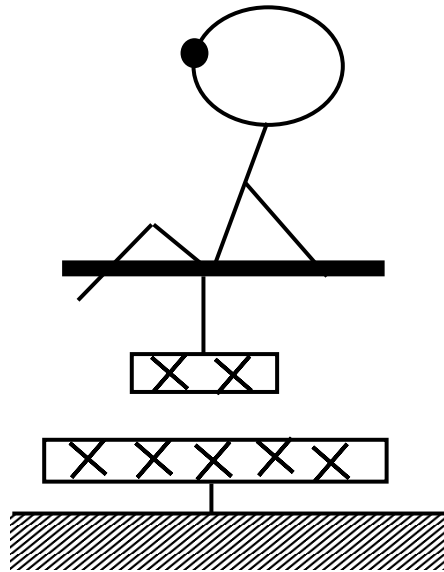
電子負荷治療

分類

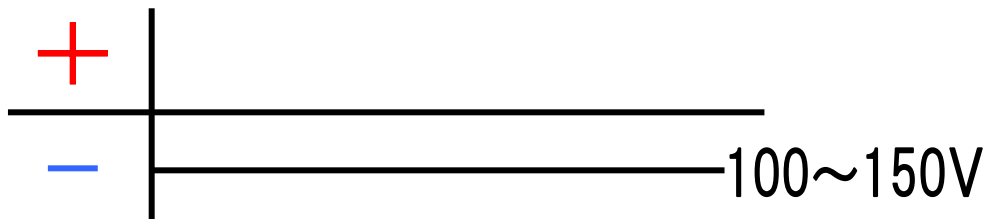
1. 直流電位療法
2. 交流電位療法
3. 通電療法
4. 空気中の電子を体に導く

I 直流電位療法

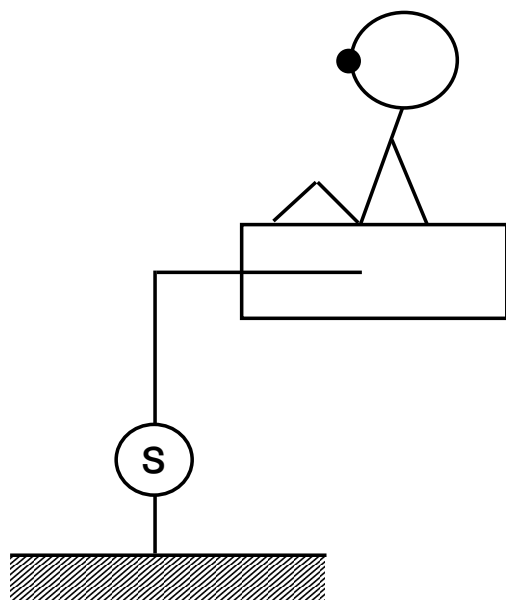
(高田イオン)



- 1.人を絶縁状態に置く
- 2.直流帯電
- 3.電子帯電効果



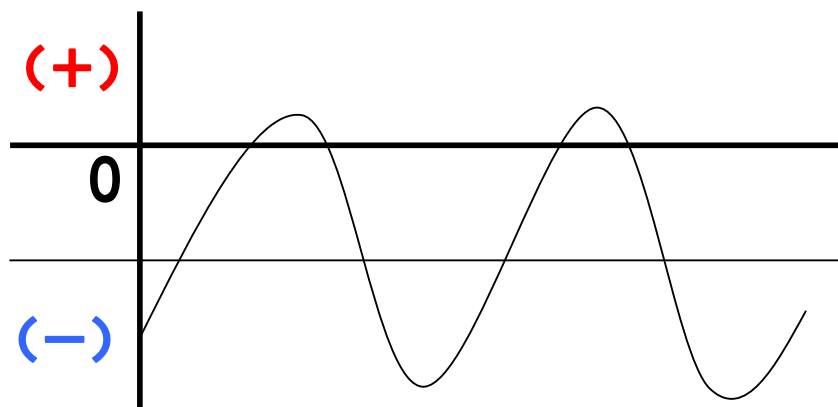
Ⅱ 交流電位療法



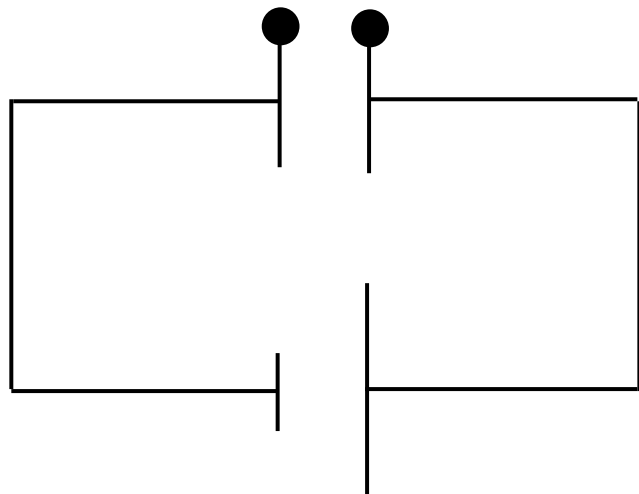
交流誘導

電子振動効果

人を絶縁状態に置く



Ⅲ 通電療法(針治療)



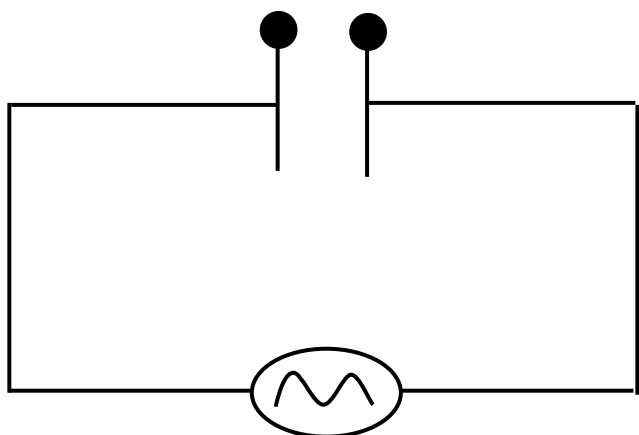
■ 交直流通電子

■ 電子の流れ効果

■ 体液を電解液を見做す

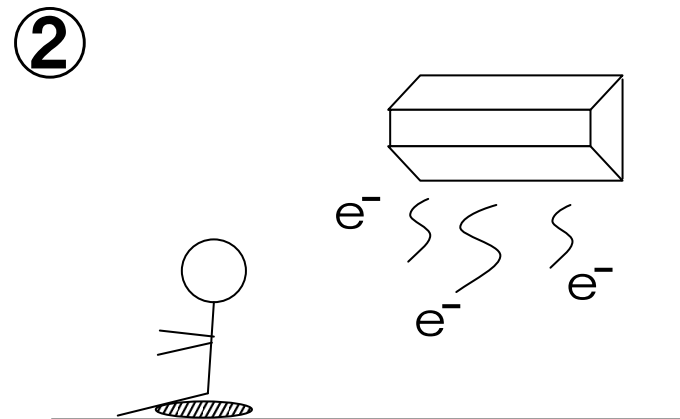
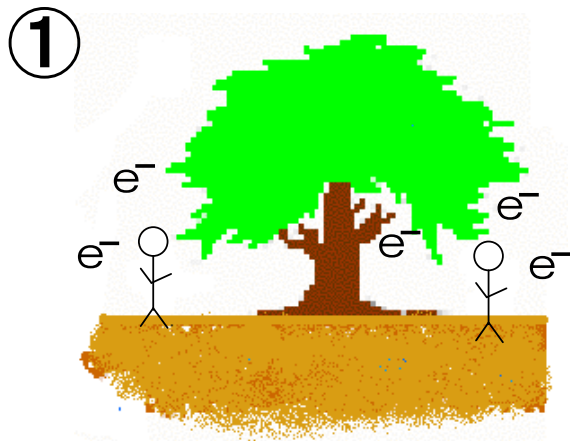
■ 交流電液を用いる場合

↳ [低周波通電療法]



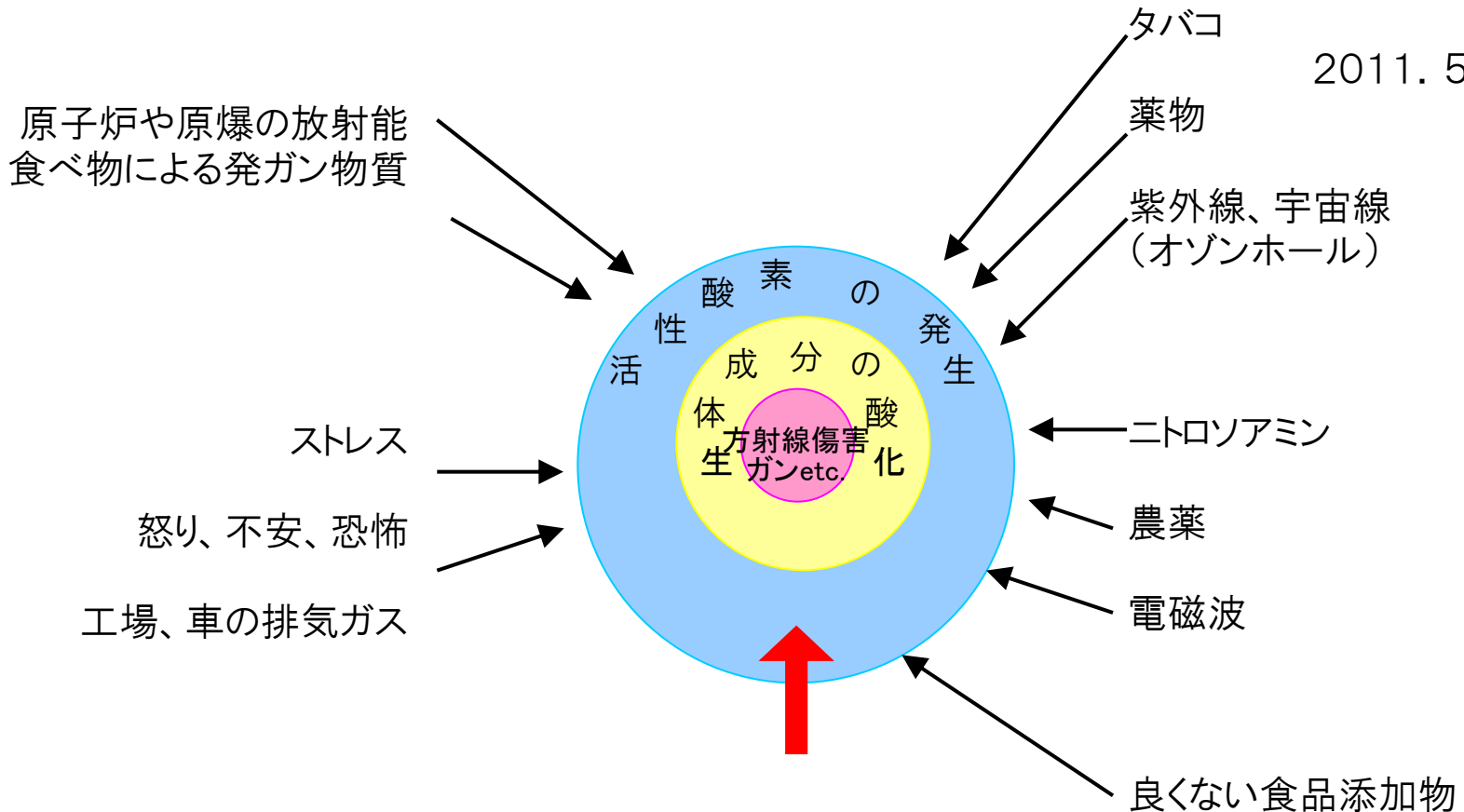
IV 空気中の電子を身体に導く療法

- ① 電子の多い自然に身を置き電子を生態に受け大地に流す。
- ② 電子発生器で空気中に発生させた電子を①と同じ方法で身体に導く



放射線、その他により発生する活性酸素の人体に及ぼす影響と抗酸化食

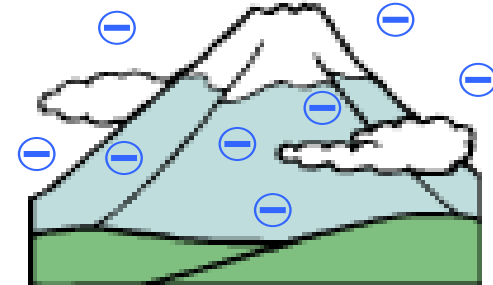
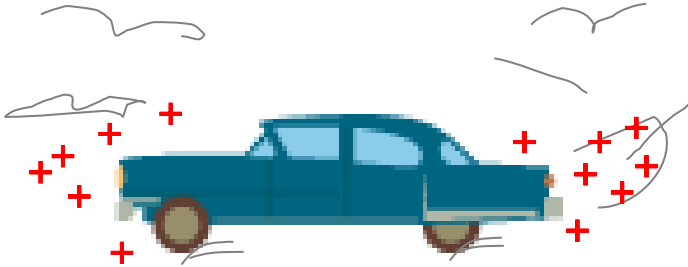
2011. 5. 8



生体外の様々な因子で、発する生体内の活性酸素を抗酸化食品で中和(消去)して、放射線傷害、癌などを阻止

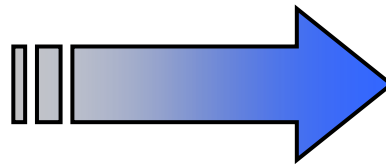
元日本大学大学院 薬学部教授
薬学博士 高橋周七

人間に優しい自然を取り入れた安全車



大地と遮断
心身のストレス
運動拘束
疲れた空気
プラスイオンが多い
活性酸素が多い

マイナスイオン
を人に与える



大地に同化
心身のリラックス
運動自由
新鮮な空気
マイナスイオン豊か
活性酸素が中和

排気ガスからでるプラスイオン量

自動車の排気ガス

50000～1000000万ピコクーロン／秒

ガスライター

6000～9000万ピコクーロン／秒

マッチの火

4000～7000万ピコクーロン／秒

六人の吐く息

50～100万ピコクーロン／秒

タバコの煙

25～50万ピコクーロン／秒

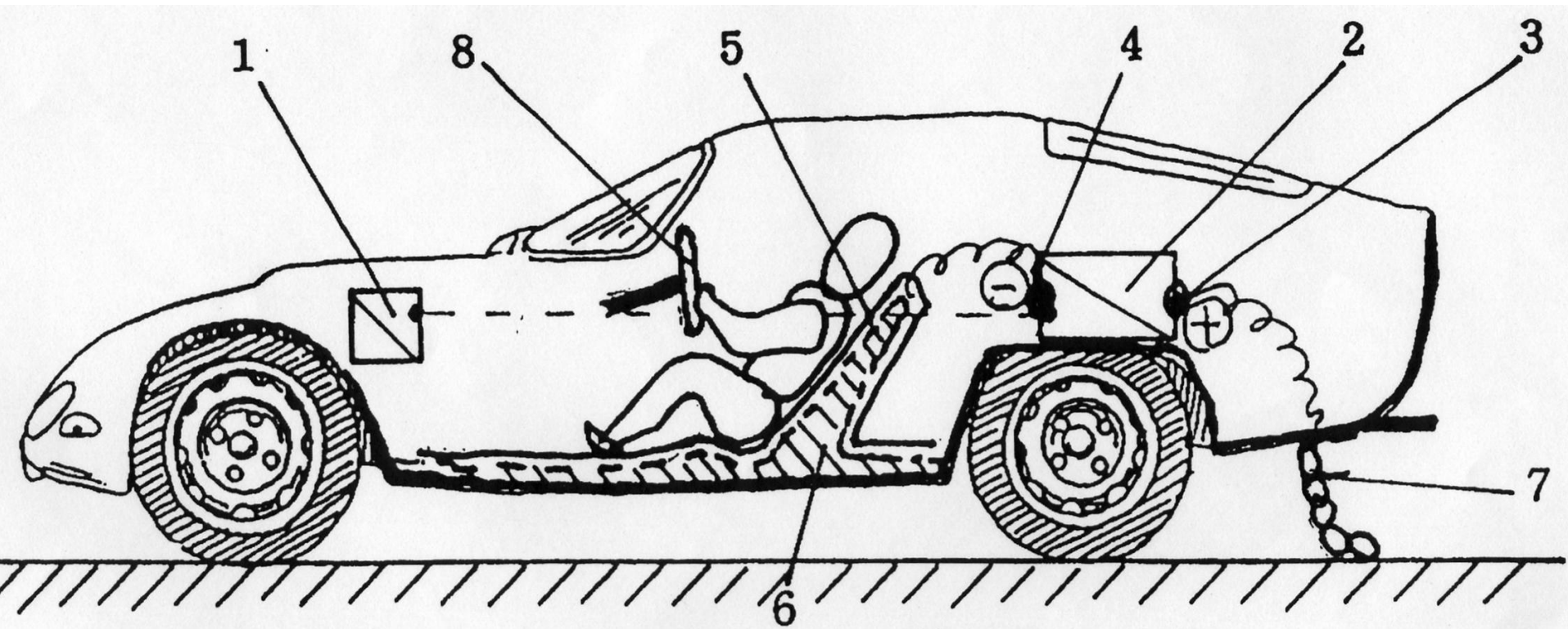


図-2 5分ごとの平均反応時間

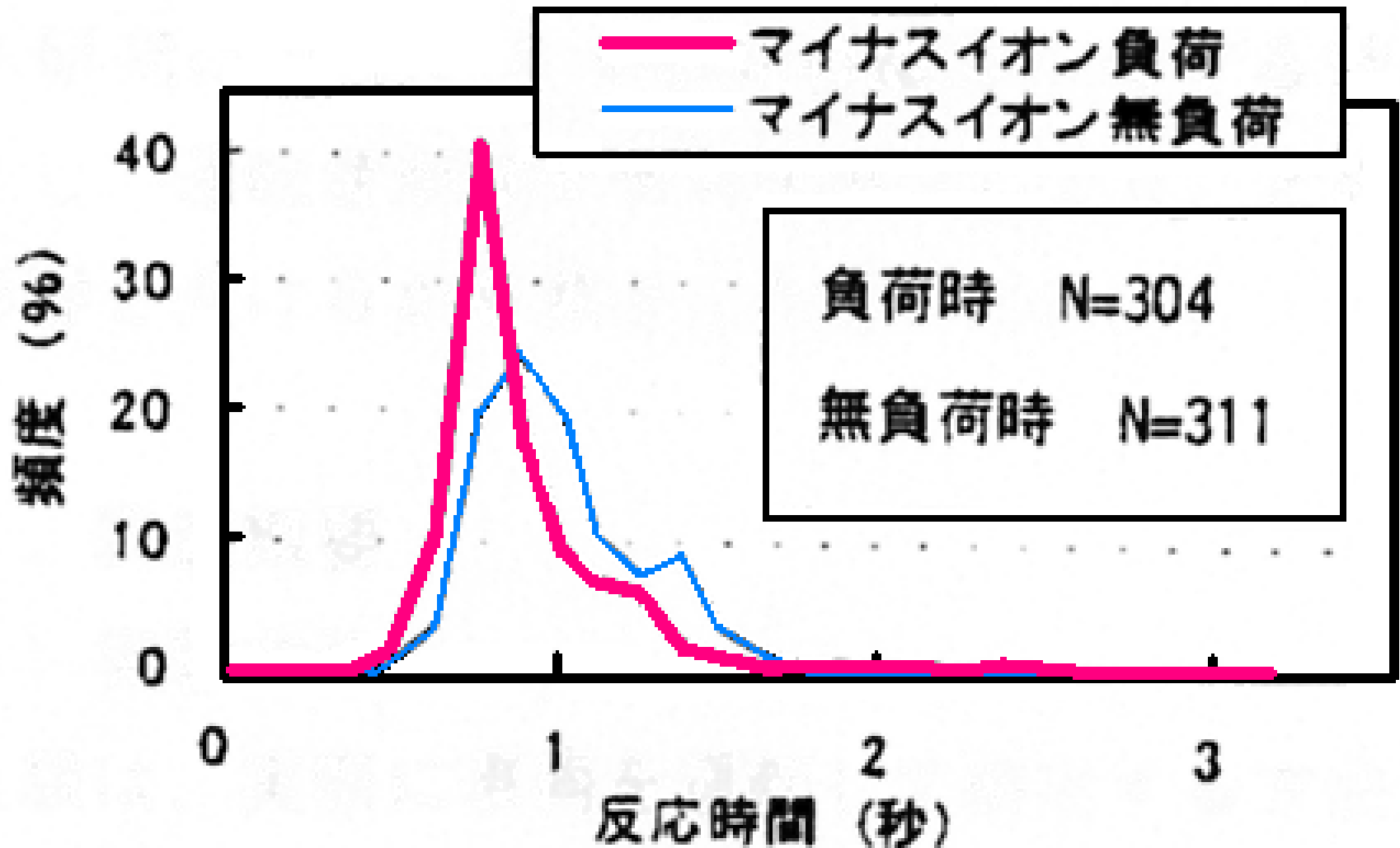
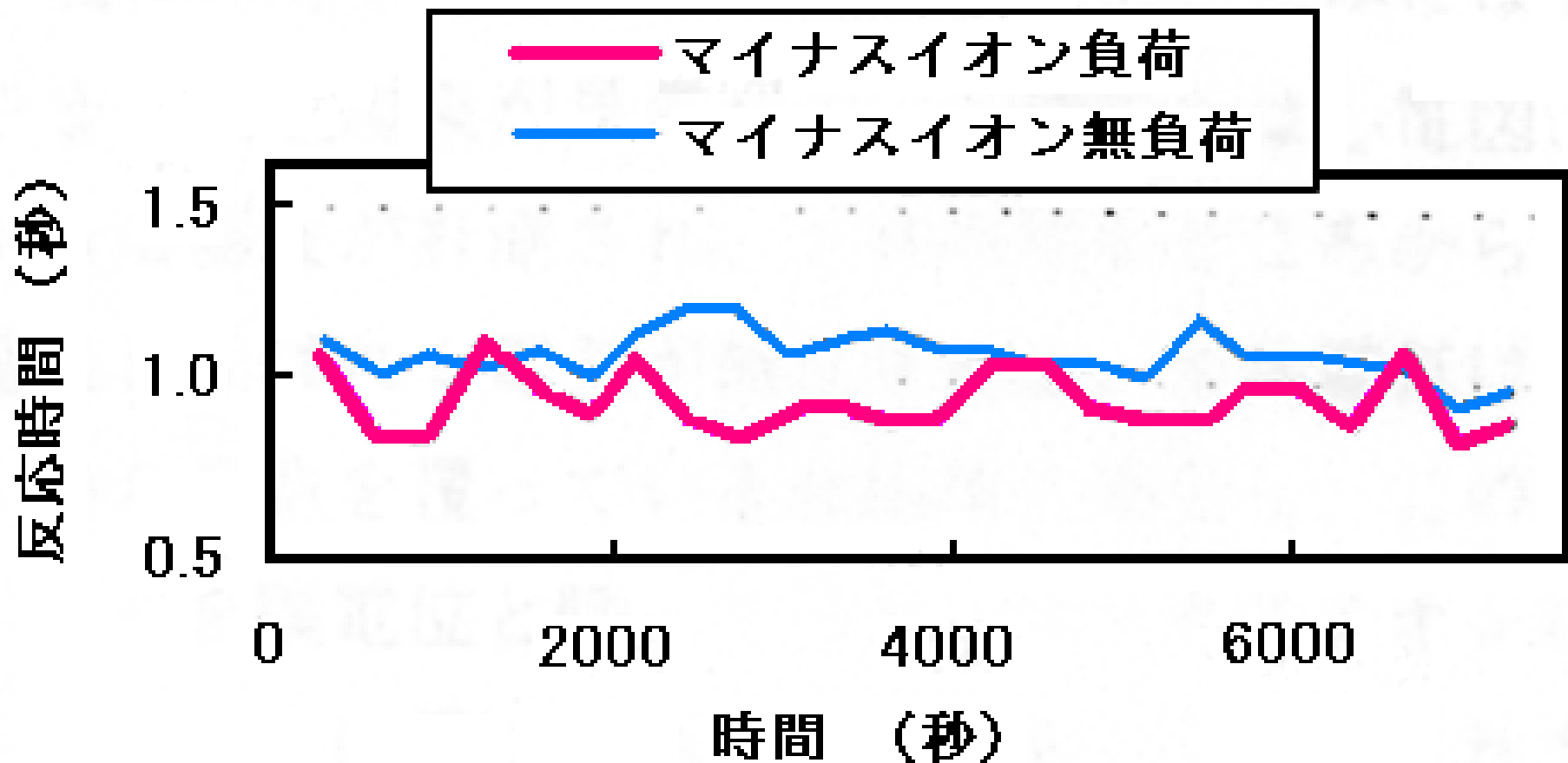
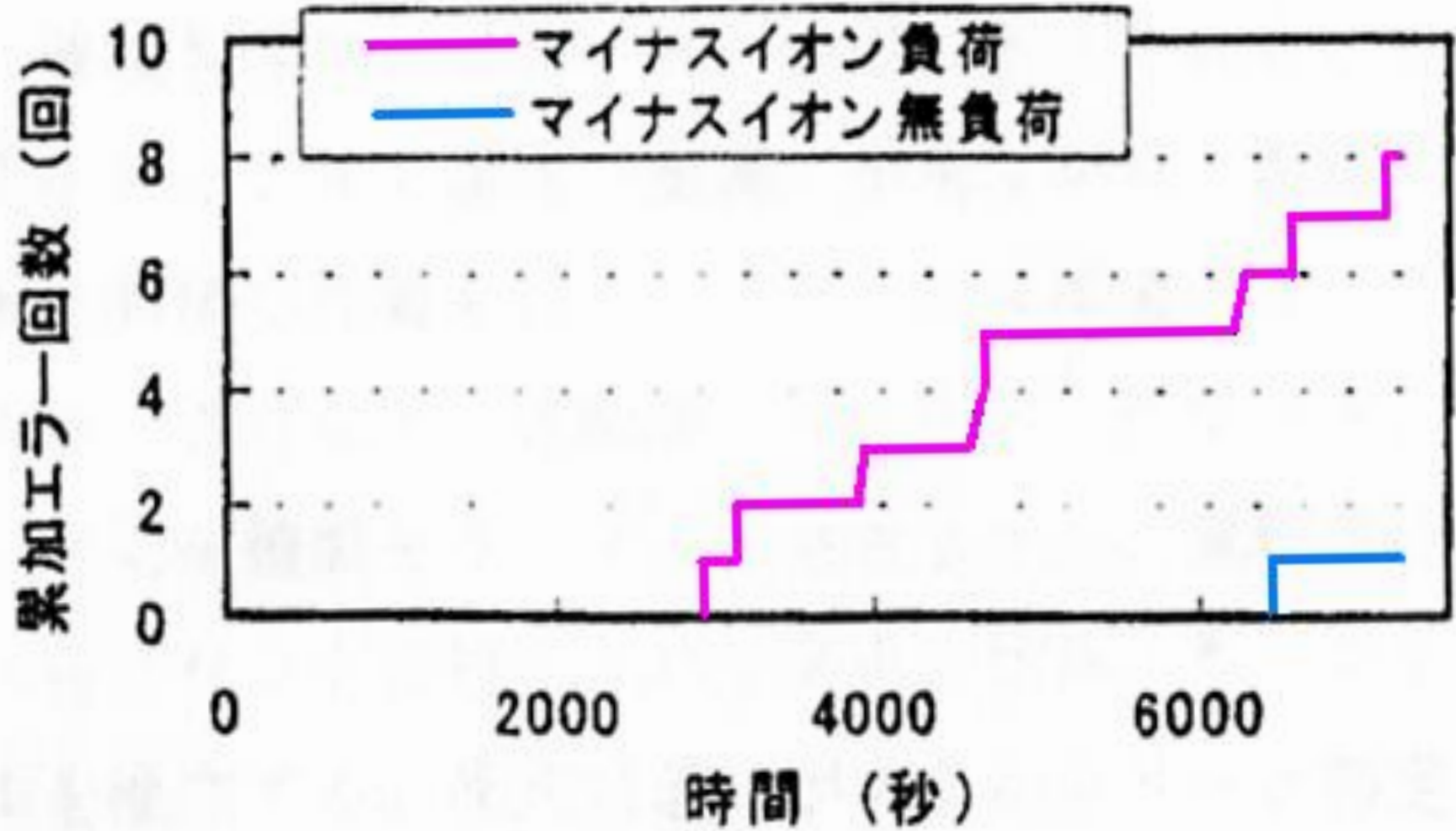


図-1 反応時間





電解の生体作用

	マイナス電解	プラス電解
全身作用	鎮静、催眠、爽快感	刺激、興奮、不眠、不快感
自律神経	副交感神経	交感神経刺激
物質代謝	エネルギー合成型	エネルギー消耗型
酸素消費量	減少	増加
利尿作用	促進	抑制
便通	促進性	秘結性
呼吸	抑制的	促進的
脈拍	減少	増加
毛細血管	拡張	収縮
血圧	下降	上昇
血液沈	減少	増加
体液	アルカリ化	酸性化
血清Ca	増加	減少
血清K	減少	増加
血液凝固能	減弱	昂進
白血球	増加	減少